



平成 25 年 2 月 28 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志
(J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 0 7)
問 い 合 わ せ 先 :
取 締 役 管 理 部 長 長 岡 信 一 郎
電 話 番 号 0 3 (5 7 7 4) 2 4 4 0 (代 表)

平成 25 年 12 月 期～平成 27 年 12 月 期 中 期 経 営 計 画 (新 規)

1. 今 後 3 か 年 の 中 期 経 営 計 画

(1) 当 中 期 経 営 計 画 提 出 時 点 に お け る 前 事 業 年 度 の 総 括

前連結会計年度においては、欧州債務危機問題の長期化、中国等の新興国経済の変調をはじめとした海外経済の不確実性の影響を受けて推移した弱含みの国内経済環境という逆風のなか、当社グループの事業展開においては時流に即した適切な資本配分を積極的に展開してまいりました。平成 25 年 2 月 14 日に公表した決算短信〔日本基準〕(連結)に記載のとおり、前事業年度(平成 24 年 12 月 期)において、総合的な金融関連事業を新たに展開し、株式取得による事業会社の連結子会社化を強力に推進してまいりました。7 月にはデータ通信及び情報システム関連市場における「デバイス事業」を手がける株式会社ネクス(旧商号:株式会社ネットインデックス)の議決権の過半数を取得し連結子会社といたしました。また 9 月には、「広告代理業」を営む株式会社ダイヤモンドエージェンシーの株式取得により連結子会社としております。その結果、当社グループは情報サービス事業、コンサルティング事業、インターネット旅行事業、デバイス事業及び広告代理業の 5 事業を抱える企業グループに成長いたしました。

その結果、前事業年度の売上高は 854 百万円、営業利益は 161 百万円、経常利益は 495 百万円、当期純利益は 492 百万円となりました。なお、前連結会計年度の売上高は 4,041 百万円、営業利益は 178 百万円、経常利益は 213 百万円、当期純利益は 425 百万円となり、大幅に業績を伸長しました。前事業年度において、平成 24 年度を初年度とする 3 か年の「中期経営計画」を策定し、その中期経営計画に基づき、当事業年度においても引き続き、当社グループの業容の拡大と財務基盤の安定化を目標にしてまいります。

(2) 中 期 経 営 計 画 の 概 要 及 び 策 定 の 背 景

当社は前事業年度におきまして、株式会社ネクス及び株式会社ダイヤモンドエージェンシーの株式取得により、当社グループの営む事業体が大きく変動したことに伴い、中期経営計画を新たに策定中であり、そのため、中期経営計画の概要及び策定の背景等につきましては、新規中期経営計画が策定でき次第、お知らせさせていただきます。

(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件

当社は今後、情報サービス事業における金融情報配信によって、より迅速で効果的な投資判断・投資行動を支援するとともに、インターネット旅行事業における専門家によるホスピタリティ精神あふれる質の高いオーダーメイド旅行サービス提供によって、アクティブなレジャーを支援し、さらに広告代理業およびデバイス事業において、投資行動、余暇行動にとどまらず、より迅速で効果的な判断・行動を支えるために、あらゆる情報を社会のネットワークに導き、つなげるよう、グループ各社での事業上のシナジー効果を発現するべく努力を重ねるとともに、各事業の成長を促すためPDCAサイクルによる業績改善を実現し、収益の増加に努めてまいります。なお、セグメント別の見通しは以下のとおりであります。

① 情報サービス事業の展開

情報サービス事業におきましては、リアルタイムで情報を配信する、金融機関を主顧客とする法人向けサービスが安定的なものとして同事業が大きな比重を占めておりましたが、昨今の金融危機から通減的に弱含みの状況となっております。そのような状況を踏まえ、今後は個々の金融機関のニーズにきめ細かく対応した、インターネット金融業者向けアウトソーシングサービスの強化などプロダクトミックスを戦略的に推進するとともに、顧客拡大の観点から「企業調査レポート」を投資判断に必要不可欠なレポートとするため、レポート提供先企業の増加に努めてまいります。また、アクティブな投資家層の中心が機関投資家から個人投資家に裾野が拡大していくとの認識のもと、個人投資家向けのサービスの拡充を行ってまいります。「クラブフィスコ」「ラクープラス」の既存のウェブに加え、「ヤフー・ファイナンス」における株価予想に参加し、コンテンツを多数提供して短期的な投資動向を予想するなど、個人投資家に支持されるための基盤づくりを図りながら、個人向ビジネスの強化を図ってまいります。

② コンサルティング事業

コンサルティング事業は、当社及び㈱フィスコ・キャピタルを中核として、多様なファイナンスへの取組等、新たな金融ソリューション、ファンド関連事業を提供してまいります。

今後もファンド等の運営を通じて、業界再編や事業分離などにともなう顧客企業の多様な資金ニーズに合わせた資金の提供等の事業にも取り組んでまいります。

③ インターネット旅行事業

成熟した日本の旅行市場は超多品種、超小ロットの旅行商品であふれ返っております。このような環境の中、消費者が心から満足できる旅行商品を見つけ出すことは大変な労力を伴います。そこに急速なスマホの浸透やネットユーザの拡大により、インターネットによる「オーダーメイド旅行」が注目されるようになりました。イー旅ネットグループはこの多様化、高度化する旅行ニーズにウェブサイトならではの利便性に加え専門家によるホスピタリティ精神あふれる質の高いオーダーメイド旅行サービスを提供し続けてまいります。

④ デバイス事業

デバイス事業は、株式会社ネクスがこれまで培ってきた情報通信技術を進化させ、M2M（マシーン・トゥ・マシーン）市場をターゲットに注力してまいります。これまで通信を必要としなかった産業分野への通信機能の組み込みによる利便性の向上、遠隔制御の高度化による製品を提供することにより、企業の人件費コスト削減や通信コストの削減など様々なソリューションを提供していくことでM2M市場への参入を加速させてまいります。あわせてコンシューマー市場についてもグループ・シナジーを活かすことで、多様化する需要を迅速に解析し、その需要に適合した製品を市場へ投入できるように取り組んでまいります。

⑤ 広告代理業

広告媒体の多様化に伴い、従来のテレビや雑誌を媒体とする広告の需要は徐々に低減傾向にあります。情報サービス事業における既存顧客ならびにインターネットを中心とした配信媒体を複合的に活用して、積極的に新規クライアント企業の開拓に努めてまいります。

なお、新中期経営計画の策定により上記内容に変更が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 今後の業績予想及び今後の業績目標

平成 25 年 12 月期の連結業績見通しにつきましては、売上高 8,037 百万円、営業利益 432 百万円、経常利益 516 百万円、当期純利益 237 百万円を計画しております。

以 上